



鶏 鳴

けいめい

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『人を裁くな。あなたがたも裁かれないようにするためである。』

聖書(マタイ福音書7章1節)

牧師 河合裕志

世の中では人を裁くということが行われている。裁判所は大はやり。多くの裁判官が連日沢山の事件を裁いている。争い事の正、不正を判断し判決を下す。今日は裁判員裁判ということになり一般の人々も裁判官と共に裁判に当てる。

こうした流れの中にあってイエスの『人を裁くな』はどういうことになる？ この流れに真向うからぶつかるものになるのでは？ もしイエスの教えで行くとすれば裁判官も裁判所も存在することが難かしくなる。

裁いちゃいけないんだから。

しかし現実問題、裁く人がいなくなったら世の中は大混乱に陥ることだろう。世の中には法律があって交通整理がなされている。これが人々に守られることによって社会生活は円滑に保たれる。こうして社会の秩序は保たれている。だから「裁くな」なんて言うことはとても無茶なこと、反社会的でさえあるのでは？

イエスの「裁くな」はそういう事ではないかも知れない。もっと小さな規模で考えているかもしれない。法にふれるようなレベルでない範囲、日常生活の心の持ちよう、といった程度のことを言ったものでは？

イエスはこのあとでこう述べる。『あなたは兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか』。ここにヒントがありそう。自分のことはタナに上げて相手に対して一方的にお前が悪いと決めつけること、これが裁くことなんだ。まず自分の言動こそ反省点検しなければいけないのに自分のことは脇に置いてただただ相手方を罪ありとする、この態度をイエスは嫌った。そういう人は万事を見通す神によって逆に裁かれることになるかと警告した。

こういうことって日常茶飯事では？

夫、妻、親、学校の先生、宗教家、みんな皆んな反省しなければ。裁判官さんだってそうだよね。とに角私達は自分のことをタナに上げるのがお得意。自分の目の中の丸太に気づかない。良い目を持っていると思って相手の欠点、至らない点、失敗の数々をあげつらい反省、謝罪を迫る。ホントはこっちなんだよね。反省すべきは。

パウロは言う。「あなたは他人に教えながら自分には教えないのですか。盗むなど説きながら盗むのですか」(ローマ書2章21節)。

これは痛い、真に耳に痛い。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

英語聖書を読む会：日曜日午前9時半

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時